

高齢者×保護猫活動



No. 3

第5期地域福祉活動計画コラム

さやま猫預かり ボランティアサークル



地域には「猫と一緒に暮らしたいけど、高齢なので難しい」と思っている方々がいる一方で、飼い主の様々な事情で飼育放棄され、保護されている猫も多々います。

そういった問題を解決するために、狭山市内を中心に行政や地域住民と協働して飼い主のいない猫のTNRを実施している動物福祉団体「さやま猫の会」にご提案いただき、始まったのが「猫の終生預かりボランティア」です。

養成講座を受講し終生預かりボランティアの登録をした方と、保護されている猫をマッチングして、高齢者でも無理なく終生預かりとしてボランティア活動を行うことができる仕組みをつくりました。

多頭飼育や飼い主の孤立等の地域課題の解決だけでなく、高齢者の役割創出や生きがいづくりにもつながっています。



さやま猫預かりボランティアサークル

会員：19名 定例会：年4回

年に2回開催される「猫の終生預かりボランティア講座」を受講後、希望する方が、終生預かりボランティアとして登録をし、さらに希望する方がさやま猫預かりボランティアサークルとして定例会でボランティア同士の交流や情報交換等を行っている。

TNRとは

猫の繁殖を防止し、地域猫として一代限りの命を大切にするため、野良猫を捕獲(Trap)し、不妊・去勢手術を行い(Neuter)、元の地域に戻す(Return)活動。